

厚生労働省 委託
在宅医療連携拠点事業

平成24年度成果報告会

岐阜県岐阜市
医療法人聖徳会 小笠原内科
木村 久美子



* 拠点の概要

医療法人 聖徳会

小笠原内科、小笠原訪問看護ステーション

常勤医 2名 非常勤医 2名

看護師 12名 介護支援専門員4名(専任1名、看護師と兼任3名)

現在の在宅患者数150名

平成20年8月～平成24年2月の患者データ

在宅患者数 405名 (在宅看取り数 187名、在宅看取り率 84%)

在宅がん患者数 147名 (在宅看取り数 124名、在宅看取り率 95%)

在宅非がん患者数 258名 (在宅看取り数 63名、在宅看取り率 68%)

沿革 平成元年 小笠原内科設立

平成11年 小笠原訪問看護ステーション開設

平成18年 在宅療養支援診療所として24時間対応開始

平成22年 東海北陸在宅療養支援診療所連絡会設立

平成23年 岐阜在宅ホスピス安心ネット設立

平成23年 当院長、日本在宅ホスピス協会会長に就任

* 地域のデータ

在宅医療連携拠点である小笠原内科を中心とした日常生活圏域「中央北、中央南、市橋、南部」を事業対象地域とする。

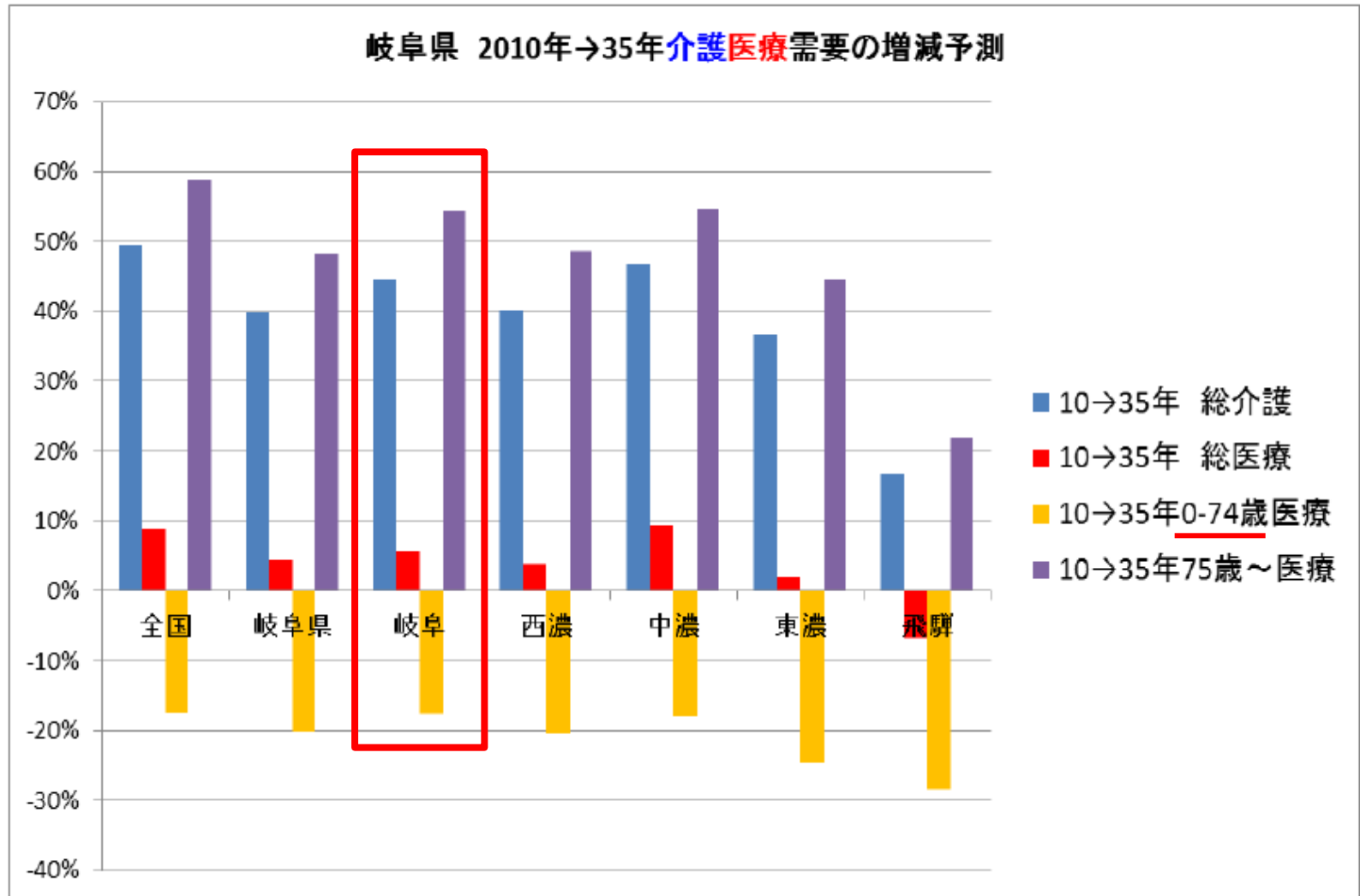
日常生活圏域	対象地区
中央北	金華・京町・明德・本郷
中央南	徹明・梅林・白山・華陽・木之本
市橋	本荘・三里・市橋・鏡島
南部	加納・加納西・茜部・厚見

地域データ	岐阜市南部	岐阜市全体	出典
人口	145,478人	410,426人	岐阜県
世帯数	62,241世帯	161,473世帯	岐阜県
高齢者率	26.0%	23.8%	岐阜県
病院施設	4施設	34施設	岐阜県
65歳以上の高齢単身者世帯		15,190世帯	国勢調査
高齢夫婦世帯		17,554世帯	国勢調査
在宅療養支援診療所	26事業所	57事業所	東海北陸厚生局
訪問看護事業所	9事業所	22事業所	WAM.NET
居宅介護支援事業所	48事業所	115事業所	WAM.NET
訪問介護事業所	33事業所	74事業所	WAM.NET



図. 対象地域（岐阜市）

* 岐阜県 2010年→35年介護医療需要の増減予測



* 実施概要

多職種連携に関する地域の課題

- 対象地域は、医療機関などの資源はあるものの、高齢化率が高く、介護力が少ないため、在宅困難例となる世帯が多く存在している。
- 病院医師、病院看護師、在宅医、訪問看護師、薬剤師、歯科医師、栄養士、ケアマネジャー、ヘルパーなどが普段から顔を合わせる機会が少ない。
- 医療保険、介護保険の知識を持った多職種連携のためのキーパーソンが不在のため、医療と福祉の連携がスムーズにいかず、入院になってしまうことがある。
- 在宅を支える訪問看護師、ケアマネジャー、ヘルパーなどでも、知識不足、連携のスキル不足などにより、早い段階で在宅医療を断念し、患者を病院へ送ることが多い。
- 病院の医師、看護師、MSWに病院から在宅に移行した患者の看取りまでの経過を知ってもらう機会が少なく、次の在宅医療につながらない。
- 患者の難易度にあった在宅医師を探すことが難しいため、在宅医療へ移行できない。



これらの課題を解決するために・・・

在宅医療連携拠点事業の実施内容

- ①在宅医療連携協議会の開催
- ②多職種連携会議、学習会の開催
- ③病診連携
- ④24時間対応の在宅医療提供体制の構築
- ⑤情報共有システムの構築
- ⑥アウトリーチ
- ⑦地域住民への普及啓発
- ⑧在宅医療に関する教育・研修
- ⑨デイホスピスの開催
- ⑩訪問看護のコールセンターの設置

* 年間スケジュール

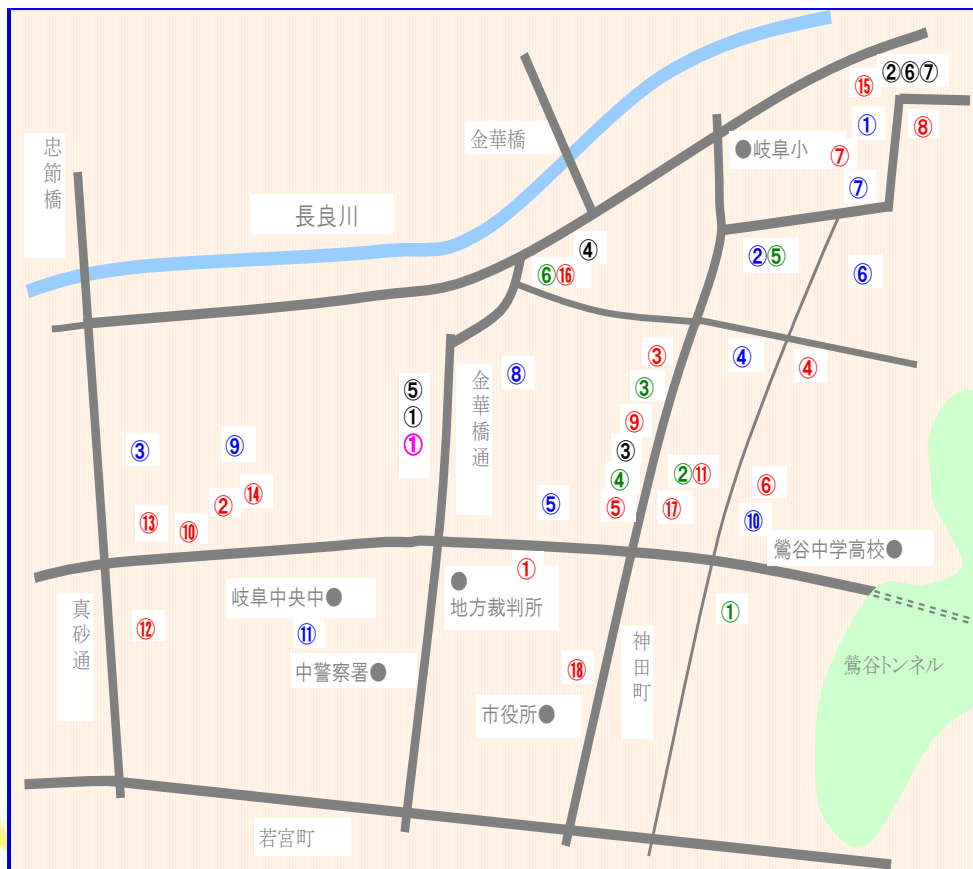
	事業内容	課題	目的	具体内容	備考	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
A 多 種 種 類 の 課 題 に 対 す る 解 決 策 の 抽 出	・地域の在宅医療に関わる多職種が一堂に会する場を醸成し、連携上の課題の抽出及び、その対応策の検討と学習会の実施。	在宅医療を支える訪問看護師やケアマネージャー、ヘルパーなど知識不足、連携のスキル不足などから在宅医療を残念し、かつ、知識のない小規模のSTでは在宅看護を行うことは負担となる場合がある。	・介護職へ医療に対する情報提供とノウハウ ・医療依存度の高い利用者への連携強化のための必要経費 ・STのみのスキルアップ ・小規模STの負担軽減	・教育的在宅緩和ケア ・実践に即した学習会(ST研修) ・ケアマネ研修(医療依存度の高い患者への対応と連携、事例検討) ・ヘルパー研修 ・ヘルパー研修(たん吸引等、研修期間申請)	拠点STが研修機関となって 実践 教育的在宅緩和ケア 研修プログラム作成			拠点STが主催 「おバカちゃん」学習会 → 医療依存度が高い患者の事例検討学習会(ケア協議会との共催)	① 参加呼びかけ		① 参加呼びかけ	① 参加呼びかけ	① 参加呼びかけ		① 参加呼びかけ	→ 成果を評価し、 来年度研修計画立案		
		病院医師、看護師が在宅医療へのイメージが見えない場合、在宅移行へとつながらない。	・病院医師、看護師が在宅医療の理解を深める。 ・情報提供 ・スキルアップ	・研修連携会議、症例検討会共催 ・病院研修等会議、積極的に参加 ・病院からの実習受け入れ ・学生の実習受け入れ ・フォーラム等の促進(写真付ける) ・在宅患者相談室の活動(相談・情報提供)	・研修後継者が深まったか等のアンケートを実施 ・病院に出向き、拠点医師との研習会実施 学生実習受け入れ 病診連携会議 準備・案内 学生実習受け入れ			病院に出向き、拠点医師との研習会実施 病診連携会議参加 → 病診連携会議参加 9/30 病院主催 地域連携会議参加 病診連携会議 準備・案内 学生実習受け入れ	① 参加 病診連携会議共催 症例紹介 ① 参加 病診連携会議共催 症例紹介		病診連携会議共催 症例紹介	病診連携会議共催 症例紹介	病診連携会議参加			① 参加	→ 成果を評価し、 来年度研修計画立案 相談	
		・多職種が普段から会を合わせる機会が少ない。 ・連携上の課題を検討する場がない。	地域で連携しやすいするための場の見える関係、スキルのわかる関係が重要であるので、多職種が一堂に会する場、情報共有の場を提供	それぞれが抱える連携上の課題を共有 解決策に向けての活動 ①来年度 多職種連携カンファレンス ②在宅医療連携協議会(管理者クラス) 課題抽出 重要課題の絞り込み 症例検討 解決への働き 多職種連携のためのパンフレット	①1回目 2回目 3回目 4回目 ②準備案内			① 準備・案内 ② 開催	① 準備・案内 ① 開催 8/27			① 11/15	① 12/20		① 1/31	② 開催		→ 成果を評価し、 来年度研修計画立案
		在宅医療とケアマネージャーとの連携不足がある。	ケアマネと在宅医療の情報共有 コミュニケーション不足の改善を目指す。	高福祉社会資源MAP 医療福祉資源ガイドを作成し、連携に活用。 情報共有システムの活用 拠点のTHPのコンサルテーション	連携のためにどんな情報が必要かヒアリング アンケート調査			マップ作成 ガイド作成		→								→ 成果を評価し、 来年度研修計画立案
B 在宅医療従事者の支援	24時間対応の在宅医療提供体制の構築	・独居、老老介護のような介護力がない在宅高齢者に対し、対応できる体制がないので、在宅医療にならない	安心ネットが不在時、相談支援 診察連携 研修連携 研修連携 教育連携 教育連携 教育的在宅緩和ケア 教育的在宅緩和ケアにより地域の在宅医療率向上 地域のがん患者のQOL向上を目指す。	安心ネット、定期的に学習会開催 ・教育的在宅緩和ケア ・遠隔サポート・共通フォームの作成 システムの構築(不在時の社務代行)	セキヨウ社にも対応 教育的在宅緩和ケア 共通ツール 必要項目抽出 業者と打ち合わせ (毎週) TV会議 システム検討会	5/30 安心ネット 医療連携会議		8/18 拠点在宅医療支援		10/25 安心ネット緩和ケア 勉強会開催						→ 成果を評価し、 来年度研修計画立案		
	ゲーム資源を連携するための情報共有システムの構築	・多代、一人体制などケア会議参加が難しい。	多職種連携のキーパーソン(THP)を育成していく。 ケアマネ、訪問看護師を中心に勉強会、症例検討会を実施 ケアマネ、看護師の研修受け入れ 育成プログラムの作成	安心ネット-教育的在宅緩和ケアでのキーパーソンとなる			THP実習生 受け入れ									→ 成果を評価し、 来年度研修計画立案		
C 効 率 的 な 医 療 提 供 の た め の 多 種 種 類 の 支 援	地域の医療福祉資源調査の徹底等を実施し、地域情報から積極的に提供するための働きかけ	医療、介護の枠を超えてそれぞれの職種の専門性を生かすコーディネートをする 多職種連携のキーパーソン不在のため、医療と介護の連携が上手くいかず、在宅医療が難しい。	多職種連携のキーパーソン(THP)を育成していく。 ケアマネ、看護師の研修受け入れ 育成プログラムの作成	安心ネット-教育的在宅緩和ケアでのキーパーソンとなる			THP実習生 受け入れ									→ 成果を評価し、 来年度研修計画立案		
		独居の事例では、医療、介護だけでなく人手不足となる。 QOL向上のための多方向で支える連携を構築する。	定期的なボランティア養成講座開催 マニュアル作成	安心ネット-教育的在宅緩和ケアでのキーパーソンとなる				ボランティア養成講座開催 緩和ケア パンフレット作成			ボランティア養成講座 開催		ボランティア養成講座 開催		ボランティア養成講座 開催		→ 成果を評価し、 来年度研修計画立案	
		連携に役立つためのツールが少ない。	地域医療資源マップ作成	地域医療資源MAP 医療福祉資源ガイド	安心ネット-教育的在宅緩和ケアでのキーパーソンとなる			医療介護資源マップ作成 医療福祉資源MAP 医療福祉資源ガイド 医療介護資源ガイド作成			・拠点医療者向け学習会に 参加し、研修者への協賛 地域連携会議に出席し、地域連携推進 (研修者向け)メール・LINE 活用等を実施 ・研修者向け学習会に 参加し、研修者への協賛 地域連携会議に出席し、地域 連携推進						→ 成果を評価し、 来年度研修計画立案	
		在宅医療、介護連携をまたいだ連携を行う人材が少ない。	在宅医療、在宅緩和ケアへの教育を行い、地域医療の底上げを行う。	アクトリーチ(各職種)学習会開催 コンサルテーション 介護保険適正化委員会(行政主催)への参加 地域リーダー研修参加	＜対象＞ 医療機関 地域連携支援センター 居宅介護事業所 情報提供 在宅医療連携室 薬局			在宅医療連携 事業所パンフレット作成 パンフレット配布開始 在宅医療連携 相談室稼働		ごくんネット発足 顔合わせ 多職種連携研究会 打ち合わせ (ST、歯科医師との連携)	10/13、14 地域リーダー研修						→ 成果を評価し、 来年度研修計画立案	
D 地 域 在 宅 医 療 へ 関 与 す る 契 機	在宅医療について地域住民への普及を図る	地域住民からの医療福祉をまたいだ相談窓口が少ない。	ニーズに合わせた医療機関や事業所等の紹介と相談業務の効率化を図る。	在宅医療の総合相談窓口となる パンフレットの作成 広報活動			在宅医療連携 事業所パンフレット作成 在宅医療連携 相談室稼働		公民館へ在宅医療 拠点事業パンフレット 配布							→ 相談件数と内容まとめ 成果を評価し、 来年度の計画立案		
		地域の住民が在宅医療の情報がなく理解が不足している	住民に対する在宅医療の情報提供	・地域の医療、福祉資源の量、質の豊かさに向けての活動 ・市民公開講座 ・チラシなど ・講演会、学習会、ラジオ出演	・独居在宅患者のためのマニュアル作成 ・ラジオで在宅医療者について啓蒙 ・講演会			8/2市役所より 岐阜市自治会民生委員 にチラシ配布 8/18 市民公開講座開催		→ 成果を評価し、 来年度研修計画立案								

1

アウトリサーチその①

在宅資源マップ

<例>



●医療機関

- ①飯沼医院 TEL.058-262-1862
- ②いいぬま小児科 TEL.058-262-6938
- ③石山泌尿器科皮膚科 TEL.058-262-6996
- ④いなば内科 TEL.058-263-0178
- ⑤江崎耳鼻咽喉科 TEL.058-262-4396
- ⑥かもと整形外科 TEL.058-264-2525
- ⑦加野医院 TEL.058-262-0942
- ⑧川出医院 TEL.058-264-8296
- ⑨白木眼科医院 TEL.058-262-1414
- ⑩杉山内科胃腸科クリニック TEL.058-262-5572
- ⑪高田医院 TEL.058-264-6500
- ⑫高橋婦人科 TEL.058-263-5726
- ⑬高牟礼耳鼻咽喉科 TEL.058-263-0694
- ⑭西野町クリニック TEL.058-262-8559
- ⑮ハラダクリニック TEL.058-264-8009
- ⑯操外科病院 TEL.058-262-7711
- ⑰森清クリニック TEL.058-264-5670
- ⑱山田眼科 TEL.058-262-3291

●医療機関(歯科)

- ①安部歯科医院 TEL.058-263-8738
- ②宇佐美歯科口腔外科医院 TEL.058-266-5611
- ③上杉歯科 TEL.058-264-0003
- ④ぎふデンタルフォレスト TEL.058-266-5611
- ⑤桐山歯科医院 TEL.058-262-2897
- ⑥国島歯科 TEL.058-262-5564
- ⑦サン新妻デンタルクリニック TEL.058-263-0664
- ⑧高井歯科医院 TEL.058-263-7831
- ⑨高田歯科医院 TEL.058-262-1312
- ⑩森歯科医院 TEL.058-262-4943
- ⑪京町 山本歯科 TEL.058-263-1439

●調剤薬局(※は麻薬取扱)

- ①麒麟堂薬局 TEL.058-265-0660
- ②大学堂小川薬局 TEL.058-266-4193
- ③太陽堂薬局 TEL.058-267-7511
- ④榊順天堂薬局(※) TEL.058-262-2905
- ⑤平成調剤薬局公園前店 TEL.058-262-3452
- ⑥ホップ金華薬局 TEL.058-262-0410

●居宅介護支援(ケアマネージャー)

- ①アバンセ介護センターぎふ居宅介護支援事業所 TEL.058-267-6002
- ②岐阜市在宅介護支援センターいきいき TEL.058-267-1295
- ③順天堂居宅介護支援事業所 TEL.058-262-2905
- ④操外科病院介護支援センター TEL.058-262-8773

●訪問介護(ホームヘルプサービス)

- ⑤榊アバンセ介護センターぎふ TEL.058-267-6002
- ⑥(社福)訪問介護事業所いきいき TEL.058-267-1294

●通所介護(デイサービス)

- ⑦デイサービスセンターいきいき TEL.058-267-1296

●有料老人ホーム

- ①四季彩 TEL.058-267-6002

1

アウトリサーチその②

医療連携ガイドの作成

＜例＞ 岐阜市の保険調剤薬局

保険調剤薬局

事業所名	住所	電話 FAX	営業時間	休日	薬の 一包化	袋に月日・ 朝夕の記載	錠剤の 粉碎	在宅の 対応	麻薬の 届出	オプション、事業所の アピール等
大学堂小川薬局	〒500-8074 七軒町15-5	266-4193	8:30-18:30	木土曜午後 第1を除く日曜 祝日	○	○	○	×	×	漢方薬、精神疾患系の 薬が充実しています。
		265-4439								
太陽堂薬局	〒500-8082 矢島町2-54 高瀬ビル1F	267-7511	月火水金曜 (9:00-18:30)	木日祝	○	○	○	○	×	
		267-7581	土曜 (9:00-15:30)							
立花屋薬局本店	〒500-8422 加納安良町46	271-5936	8:00-20:00	日祝 1/1-1/3	○	○ 手書き	×	○	×	駐車場3台 地元密着の薬局です 在宅は8:00-9:00、13:00- 16:00、19:00-20:00の対応 (緊急時は除く)
		271-5936								
たんぼぼ薬局 鹿島町店	〒500-8323 鹿島町6-16-8	252-4861	8:30-17:30	土日祝 12/29-1/3	○	△	○	×	○	現在は在宅をお受けで きる状況ではありません。
		252-4862								
たんぼぼ薬局 岐阜駅前店	〒500-8833 神田町9-27 大岐阜ビル2階B	212-2021	月火水金曜 (9:00-19:30)	日祝	○	月日× 朝夕○	○	○	○	地域医療に貢献する為、積 極的に在宅に取り組みたいと 考えています。対応は13:00- 17:00、その他は個別相談応 じます。駐車場なし
		264-2612	木土曜 (9:00-17:00)							
たんぼぼ薬局 シティタワー店	〒500-8856 橋本町2-52 シティタワー43 3F	212-0211	月-金曜 (9:00-19:00)	日祝	○	○	○	○	○	対応時間に関してはお 相談させていただきます ですので気軽にご連絡下 さい。駐車場はなし
		212-0212	土曜 (9:00-17:00)							
（株）茶所薬局	〒500-8431 加納八幡町21-1	271-3843	9:00-20:00	日祝 12/30-1/3	○	×	○	×	○	駐車場はあります
		277-5324								

～目的～

- ☆在宅医療に慣れない地域の医師・訪問看護師への遠隔サポート
- ☆点から面への展開
- ☆地域の在宅看取り率の向上
- ☆地域がん患者のQOL向上を目指す。
- ☆小規模のステーションが安心して負担なく在宅緩和ケアを行える。
- ☆在宅緩和ケアのノウハウを直接実地研修で学んでもらう。

教育的在宅緩和ケア

在宅医療連携拠点診療所



教育的在宅緩和ケア前後の変化

医院	在宅看取り数(人)						在宅看取り率	
	全疾患		がん				がん	
	前	後	前		後		前	後
	在宅死	在宅死	在宅死	入院死	在宅死	入院死		
A 26ヶ月	11	22	11	14	20	9	44	69
B 20ヶ月	53	62	26	6	23	1	81	96
C 16ヶ月	9	15	5	3	9	1	63	90
D 12ヶ月	11	13	5	2	5	1	71	83
E 12ヶ月	0	4	0	2	3	0	0	100
F 17ヶ月	3	7	1	5	2	6	20	25
計	87	123	48	32	62	18	60 %	78 %

※26ヶ月とは、前後 26ヶ月のデータである。

全国から在宅医療について

学びたいという研修生・訪問看護師40名の受け入れ(平成24年)



<研修終了後のアンケート結果>

* 研修が日常の業務で生かせるものになりましたか? → はい 100%

<研修参加者の意見>

- ☆ 在宅医療全般について理解できた
- ☆ 地域資源について学んだ
- ☆ 患者さんの笑顔に癒された

3

岐阜在宅ホスピス安心ネット

地域で在宅看取りまで支えることができるよう、地域の21医療機関と訪問看護ステーションで連携し、看取りまで支える24時間システム

つまり...

→主治医が万が一不在の時に、
連携医がレスキューする。

< キーパーソンは訪問看護師 >

- * 患者情報は訪問看護師より医師に提供。
- * その情報より医師は判断する。



4

遠隔サポート

- ★ 医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー、家族が多職種連携・協働に活用するためのツールを作成(専用アプリを作成し、ipadを使用)
- ★ 顔の見える関係の中での...
 - * 情報共有の簡易化
 - * 医療・介護スタッフの負担軽減
 - * 遠隔サポート
 - * 離れた家族の安心にもつながる



5 介護職員等へのたんの吸引研修実施

“医療依存度の高い利用者の医療”
に対する介護職員の理解
&
在宅受け入れの必要性

参加者41名



Q 研修に参加してみようと思った理由は??



少しでも身に付けて、利用者の家族に喜んでもらえるようになりたいから



「ヘルパーなのでできません」と断ったことがあるから

利用者や家族の方の代わりに安心してやれる事があればもっと勉強したいから



知らないこともあり、勉強になるから



これからの在宅に必要な行為だと感じるので



- ・胃ろうの利用者がいる
- ・痰吸引が出来ないためケアに入れなかった
- ・訪問介護で行えることは勉強していきたい



医療的ケアを必要とする利用者の増加



6

ケアマネ協議会

★ 医療依存度が高い患者の事例検討会をケアマネ協議会と共催

120名参加

目的： 医療に対する情報提供をスキルアップ
医療依存度が高い利用者への理解と受け入れの必要性



7

病診連携会議

<目的>

病院医師、看護師、薬剤師への在宅医療への理解を深める



< 他 >

- ☆病院医師、看護師、学生の研修受け入れ
- ☆フィードバックの促進
- ☆在宅患者相談室 53件
- ☆ごっくんネット
- ☆看護学校講師
- ☆医学部学生受け入れ

- 岐阜県医療センター
- 岐阜大学病院 と共催

8

多職種連携カンファレンス①

目的

- ★ 地域で連携しやすくするために顔の見える関係、スキルのわかる関係となる。
- ★ 介護職の医療に対する情報提供とスキルアップ
- ★ 病院スタッフへの在宅医療への連携促進

参加者:

第1回目 235名

第3回目 145名

第2回目 170名

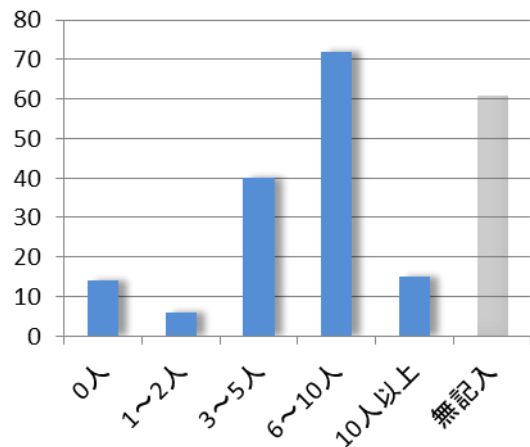
第4回目 180名



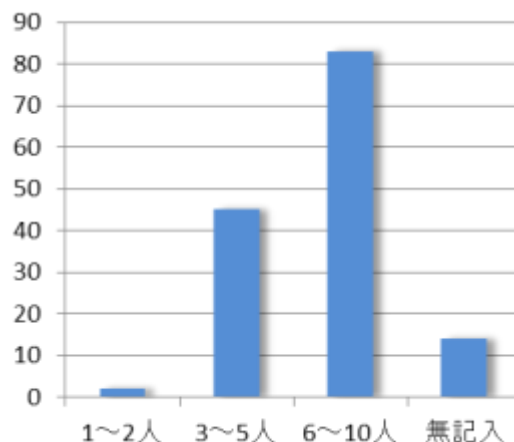
8

多職種連携カンファレンス②

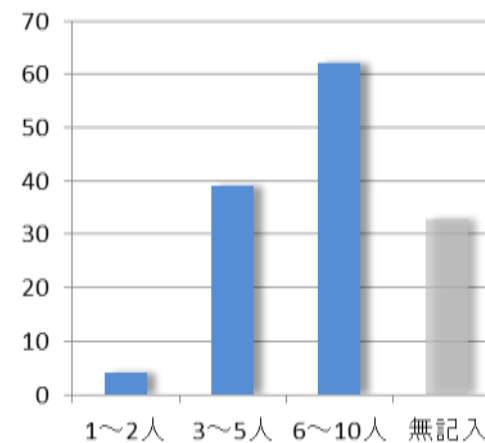
＜ 当日新たに顔見知りになった人数の集計結果 ＞



第1回



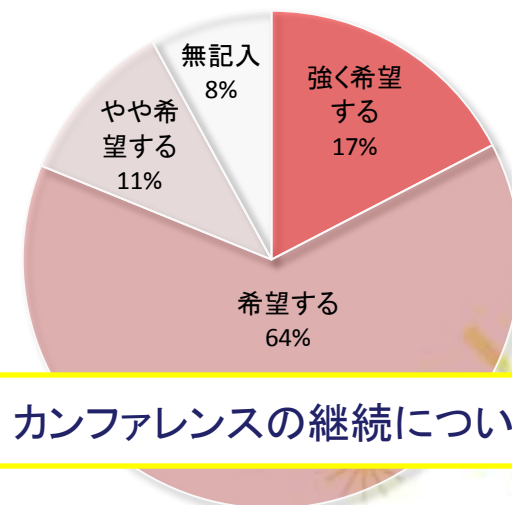
第2回



第3回

アンケート結果

- ◆ 多職種の中で自分の役割が分かった
- ◆ ヘルパー、ケアマネからDrへの敷居が下がった
- ◆ 連携を取りたいと皆が思っている、職種が違ってても悩みは一緒なので分かり合えた
- ◆ 薬剤師と歯科医師の役割を知り、ケアカンファレンスの参加を呼びかけたい。



カンファレンスの継続について

緩和デイケア活動

音楽療法 ・ 傾聴 ・ レクリエーション



音楽療法



クリスマス会



ボランティア養成講座で
人材育成



訪問看護師対象に
リンパマッサージの実技指導

患者のQOL向上
&
医療スタッフの
負担軽減

緩和デイケアとは
がんをもちながら在宅療養されている方が、同じ病をもちつととの交流や、癒しの空間を通じて自分らしさを取りもどしたり、新しい自分を見つけたりする場です。

主な内容

- 相談
体調のこと、不安な気持ち心配なこと、経済的なこと食事のこと などご家族のご相談にも応じます。
- 情報交換
季節の催し、散歩など趣味を生かした創作活動をぜひ皆さんと共に楽しみます。

～専門スタッフ～

- 医師
- 看護師
- 臨床心理士
- 管理栄養士

スタッフ
皆さんの参加をお待ちしております。

セラピストによるメニュー

- アロマテラピー
- 整骨
- リンパドレナージュ
- フットケア
- 音楽療法

利用方法
なるべく事前予約をお願ひいたします。
※ セラピストによるメニューご希望の方は、事前申し込みをお願い致します。

＊交通のご案内＊

〒500-8418 滋賀県彦根市北町3-3
小笠原訪問看護ステーション
TEL 058-271-8750 FAX 058-273-6074
pk_safety_station_gifu@yahoo.co.jp

**緩和ケア
ふれあいサロン
さふら**

在宅医療相談拠点事業部
小笠原訪問看護ステーション

★講演会・・・市民公開講座 公民館出張

★メディア・・・地元ラジオ出演(月2回)

『女性自身』
『クロワッサン』 } 掲載
NHK
地元テレビ局 } 取材

ぎふチャン
『あんきに元気に生きよまい』



H24.7月10日号
H24.6月25日号
H25.1月8・15日
合併号

★ 拠点事業ホームページ



<http://kyoten-bunbun.info/index.html>

- * 岐阜県保険医療計画への参画
- * 岐阜県在宅医療連携検討会委員
- * 都道府県リーダー講師